

焼津市 ゆりかご保育所 所長 奥川恵美子先生

ゆりかご保育所さんで頂いた「Love & Smile 子育ての道」沿革を見ると昭和五十一年「ゆりかご託児所開設」とあり、昭和五十二年法人化から約四十一年間の年表に、「開設」「開所」「新築移転」「改築」「増築」「事業開始」の文字ばかり。現在は児童福祉施設六。老人福祉施設四。障害者就労継続支援B型施設三。となっています。確かに子育ての基本方針には「常に地域の福祉サービスを把握し、新たな事業展開に取り組む」とあります。「地域の声と自治体からの要請を受けていたらいつの間にかこうなっていた」と、理事・所長の奥川先生はおっしゃっていました。



さて、今回おじゃましたゆりかご保育所ですが、まずはお給食の事を伺いました。給食室が幼児棟、乳児棟と二つあるのも便利でいいなと思いました。R1を毎日飲んでいたり、こだわり味の味協同組合の納豆をとにかく毎日食べ



ていたり。(ご飯の日はもちろん、パンなどの日もシューマイの皮でくるみ納豆揚げにして食べているそうです)また、地元焼津の工場で作ったばかりのなまり節を玉ねぎと醤油でさつとあえておかずにしたたり、メニューも個性的で工夫が見られました。主活動も、リトミック・運動遊び／サーキット活動・絵画／造形・英語・茶道と多種多彩でした。子どもたちのお着換え(布おむつも含め)を毎日、園で洗濯してくれたり家



庭の強い味方でもありました。障害のある子どもと一緒に過ごします。「子どもたちはなんでも食べられる健康な身体と、思いやりの心をもち、人の話を聞ける、メリハリのある子に育ってほしい」という開所以来の所長先生の思いが詰まった保育所でした。その思いを副所長先生はじめ、保育士さん、給食さん職員一同が保育・福祉の気持ちこめて保育実践をしている様子が良く判りました。お忙しい中、取材の時間を作っていただき有難うございました。〈遠洋漁業の元漁師さんだった、理事長先生の体験を基にした絵本「タツジの海 マグロをとりに」も頂きました。〉